

デムサーカプセル 250mg

【この薬は？】

販売名	デムサーカプセル 250mg DEMSEER Capsules 250mg
一般名	メチロシン Metirosine
含有量 (1カプセル中)	メチロシンとして 250mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、チロシン水酸化酵素阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、カテコールアミンの生合成律速酵素であるチロシン水酸化酵素を阻害することで、生体内のカテコールアミン含量を減少させ、褐色細胞腫のカテコールアミン分泌過剰状態を改善します。
- ・次の目的で処方されます。

褐色細胞腫のカテコールアミン分泌過剰状態の改善

- ・この薬は、既存の交感神経受容体遮断薬による治療では十分な治療効果が得られていない場合に使用されます。
- ・外科手術前の処置、外科手術が適応とならない人の管理、悪性褐色細胞腫の人の慢性的治療を目的に使用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要

です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にデムサーカプセルに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・腎臓に重い障害のある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量および回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人および12歳以上の小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

開始時1日量	500 mg (2カプセル) (2回に分けて飲みます)
1日最大量	4,000 mg (16カプセル) (4回に分けて飲みます)
1回最大量	1,000 mg (4カプセル)
飲む回数	1日500mgは1日2回 1日750mgは1日3回 1日1,000mg以上は1日4回 (投与間隔は4時間以上として飲みます)

- ・効果不十分な場合は、3日以上の間隔をおいて1日250mgまたは500mgずつ徐々に増量されることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血圧低下があらわれることがあります。この薬の使用中は用量調節時等、定期的に尿中カテコールアミン量や血圧が測定されます。
- ・鎮静、傾眠（刺激がないと眠ってしまう）や錐体外路障害（動きが遅い、眼球が上を向く、首のねじれやつっぱり、手足のふるえやこわばり、筋肉のこわばり、足がそわそわして落ち着かない）があらわれることがあるため、この薬の使用中は自動車の運転等の危険を伴う機械の操作をしないでください。
- ・結晶尿があらわれることがあるため、1日1Lを目安に積極的に水分を摂るようにしてください。1日量が2,000mg（8カプセル）を超える場合は1日の排尿量が2L以上になるよう十分な水分を摂ってください。結晶尿があらわれた場合には、水分摂取量をさらに増やしてください。
- ・この薬の使用を中止した後に睡眠障害（不眠症、過覚醒、活力増進、精神運動亢進）があらわれることがあるので、これらの症状があらわれたら、医師に相

談してください。

- ・長期使用が必要な人は、定期的に臨床検査（尿検査、血液検査、肝機能検査及び腎機能検査等）が行われます。特に、腎臓に障害のある人は、定期的に腎機能検査が行われることがあります。
- ・妊娠する可能性のある人は、この薬の使用および使用終了から3日間は避妊する必要があります。十分に理解できるまで説明を受け、適切な方法で避妊を行ってください。
- ・妊娠の希望や予定のある人は医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。この薬の作用により胎児に影響を及ぼす可能性があります。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・アルコール飲料はこの薬の鎮静作用を増強するおそれがあるので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
鎮静、傾眠 ちんせい、けいみん	活動量や発話量が少なくなる、眠り込んでしま う、刺激がないと眠ってしまう
精神障害 せいしんしょうがい (不安、不眠症、うつ病、 ふあん、ふみんしょう、うつびょう 幻覚、失見当識、 げんかく、しつけんとうしき 錯乱状態) さくらんじょうたい	不安、不眠、うつ状態が長期間つづいて日常生 活に支障がでる、実際には存在しないものを存 在するかのようを感じる、自分のいる場所や時 間、自分や人の名前などがわからなくなる、注 意力が散漫になる、問いかけに間違った答えを する、行動にまとまりがない
錐体外路障害 すいたいがいるしょうがい	動きが遅い、眼球が上を向く、首のねじれやつ っぱり、手足のふるえやこわばり、筋肉のこわ ばり、足がそわそわして落ち着かない
下痢、軟便 げり、なんべん	腹痛、水のような便が出る、泥状のゆるい便が 出る
結晶尿 けっしょうによ	腰痛、背中痛み、腹痛、尿が赤みを帯びる、 尿量が減る、むくみ、体がだるい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	動きが遅い、むくみ、体がだるい
頭部	活動量や発話量が少なくなる、眠り込んでしまう、刺激がないと眠ってしまう、不安、不眠、うつ状態が長期間つづいて日常生活に支障がでる、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、自分のいる場所や時間、自分や人の名前などがわからなくなる、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、首のねじれやつっぱり
眼	眼球が上を向く
腹部	腹痛
背中	腰痛、背中の痛み
手・足	手足のふるえやこわばり、足がそわそわして落ち着かない
筋肉	筋肉のこわばり
便	水のような便が出る、泥状のゆるい便が出る
尿	尿が赤みを帯びる、尿量が減る

【この薬の形は？】

形状	硬カプセル剤 
直径	長径21.1mm、短径7.5mm
重さ	357mg
色	頭部：青色不透明 胴部：淡青色不透明
識別コード	ATON 305

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	メチロシン
添加剤	ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム カプセルにゼラチン、青色2号、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温(1～30℃)で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社： 小野薬品工業株式会社 (<https://www.ono-pharma.com/>)

くすり相談室

電話：0120-886-336

受付時間：9:00～17:00

(土日・祝日・会社休業日を除く)